GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760 国際ロータリー第2760地区ガバナー 江崎 柳節

【撮影 江崎 柳節】

ガバナー月信 🔊 11



.....202223

:会奉仕委員長会議の ······17

ロータリーは 分かちあいの心

2007~2008年度 国際ロータリーのテーマ

ガバナーメッセージ2	西名古屋分区·東名古屋分区社
次年度地区チーム研修セミナー報告4	活動報告
2008-2009年度会長エレクト研修セミナー	RI第2760地区史編纂にあた
(PETS)報告 ······6	白馬スキーエクスカーション…
IM 報告 ······9	ガバナーからのお知らせ
記念事業報告13	インターネット速報・文庫通信・
米山奨学期間終了者歓迎会及び指導教員への会 …14	会員出席率報告
DDF選択会議報告 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

2008年5月1日発行

OGOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2007-2008 OOOOOO







Governor Message

ロータリーにおける

クラブ会長各位 クラブ幹事各位

桜の花も多忙のうちに過ぎてしまい、風薫る季節になりました。一年は誠に速く過ぎ去るものです。ジャネーと いうフランスの小児医学者の法則があります。一年の長さは年齢の逆数に比例して短く感じられる事は後にも記載 致しました通りで、いわんや速く過ぎ去ることを待ち望んでいるときにはまさしく"邯鄲夢の枕"でしかないとい う事になります。生涯でたった一度の人生、たった一度の会長年度、おそらく皆様方には多少の悔いは残るかも知 れませんが達成感溢れる一年であった事と信じております。そろそろ未完のプロジェクトのチェックと仕上げにか かって頂く時が参りました。

増強は今年も協力に推進して頂きました。毎年各クラブは増強を主要事項として努力して頂いております。日本 全体では、しかし06~07年度に純増ができた地区は34のうち2地区にとどまっています。やはり斬減の歯止めが掛 かりません。これは殆ど日本に限られた現象であることに注目しなければなりません。日本がひとり検討が遅れて いるCLPがある程度日本の急場を救ってくれる事になると思われています。

今月は地区協議会第1分科会でお話し致しました"ロータリーにおけるリーダーシップ"について掲載させて頂 きます。

1)ロータリーの単年度制

一年は誠に短いものです。皆さんも若いときに比べて一年が短く感じられませんか。

これは科学的に実証されていることです。"ジャネーの法則"で一年は年齢の逆数に比例して短くなるというものです。 20代の一年を1とすると60代の一年は1/3に短く感じます。これは人生ですでに得た既視体験(dějá-vu)が時間 をショートカットしてしまったり、無感動、無意識に事を片付けたりする事による結果でしょうか。萬人に平等な 単位時間を無為に捨てることは大きな損失でもありましょう。

2)年間の心構え

よく先輩に、そんなに力まずとも、気楽にやりなさい。"無理することはないよ"というアドバイスをうけるこ とがあるかもしれません。しかし一年間クラブを任されたものが気楽に始められないものであることは、知ったと きの衝撃が大きいと思います。リーダーの踏み台に立たされて初めて知る事は自分以外の人の器量の大きさです。 リーダー職が手慣れていないことはどなたも同じです。ただリーダーの懸命さが会員の心を動かすものです。

3) 1年間はしっかり主張を通してぶれないこと

たかがロータリーされどロータリーといいます。ここには副業的な、暇にまかせた活動を主体にすればよいとい う響きがありませんか。ロータリアンはロータリー活動の時間内はそれに集中することができる裁量権を本業の中 で持っている人がなっています。人生一度だけの最も記念すべき年を信念を持ってリードして頂きたいと思います。 一年間にリーダーはその勇気を試される場面に遭遇することがあります。マーガレット・サッチャーが申しており ます。「道の真ん中に立つことは非常に危険です。両側から車に押しつぶされてしまうことになります」このよう な時、私たちはいかに対処すべきでしょうか。このような状況に遭遇し、道のどちらかの側に移動した場合、問題 に対する自分の見解を表明したことになるのを忘れてはなりません。そして一旦その立場についたなら、周りから どんな批判を受けようとも、どのような困難が待ち受けていようとも、自分の立場を死守しなければなりません」 と、リーダーが信念を貫き通すことの大切さを示唆しています。ロータリーには憧れて入ってきた人、人生の最終 仕上げと思っている人が沢山あなたと共に一年間を過ごそうとしておられます。

ガバナーメッセージ

リーダーシップとは

国際ロータリー2760地区ガバナー 江 崎 柳 節

4) 現代社会の奇跡集団

ロータリーに限っては普通の団体ではありません。地域を代表する専門職業人と実業人の選りすぐりの人です。 その人達は専門性を持っています。指導性を持っています。人格も人並み以上です。其れよりも何よりもそのような優れた人が毎週自己研鑽のため例会に駆けつけています。その期待を少しは超えた例会と理念を満たすプロジェクトでないと会員が魅力を感じないという検証がRIでなされています。CLPの"奉仕プロジェクト"の検討はこれを求めていると思われます。

6) 会員減少が回復基調に転じません。

退会者の3大共通点は"クラブに指導性がない""クラブに奉仕がない""クラブに魅力がない"という会員の迷いであることもRIで世界中のデーターから検証されています。過去5年間の会員減少率は第1位が日本の30%、2位のオーストラリアの6%、ラテンアメリカの2%を大きく離しています。これが日本の経済事情だとか社会情勢だとかでないことは明白です。クラブに真の魅力を感じる運営がなされているか、本業を犠牲にして駆けつけるに足るアドバンテージが感じられる例会かどうか、この辺に問題があるように思います。今年一年間兎も角CLPに秘められた問題点を理解すべく御願いして参りました。日本のクラブの問題点はCLPにことごとく盛られているように思います。

7) ロータリーの任意団体制

この組織をリードするのに規律も命令もありません。あるのは意気に感じていただく会長の熱意だけです。そんなに卓越した会長になれないと思われる方もあるかも知れません。"一生懸命さ"に人は感銘するのです。"ロータリーは感動だ。感動を与えることができる人がリーダーだ"と昨年の国際協議会(ガバナーエレクト研修会議)で私は一つの結論を得たような気がしております。

9) CLPの意味するところ

殆どの方がCLPは委員会を少なくすることだと思っておられるようです。中には新世代委員会を社会奉仕委員会とまとめてしまうクラブも出現し地区協でも困っているのが現状です。CLPで5つの委員会が推奨常任委員会としてあげられているのは、潰れそうなクラブでもこの5つの委員会が正常に機能すればクラブは蘇るという5項目であるのです。今までに、正常に機能していると信じているクラブであってもこの5委員会機能を再精査してください。クラブ奉仕に研修機能があるか、ロータリーの情報をきっちり共有しているか、増強は理事会委員会としてしっかりクラブ全体で推進しているか、奉仕プロジェクトが寄付団体、協賛団体だけになっていないか、ロータリーのUP to Dateの目標、達成結果、その社会的意義などが会員に共有されているか(広報)等年間に一度はクラブ全体で協議してみて下さい。長い間放置されているクラブ細則も見直してみましょう。クラブ運用細則が10年以上も変わっていないことが組織を弱めていませんか?

10) ITもリーダーの必須の資格

おいてけぼりの日本のリーダーの情報収集機能がいま問題ではないでしょうか。地区大会で"インターネットカフェ"を試行してみて会員の潜在的デマンドが少なからざるものであることがわかって来ました。ロータリーの識字率プロジェクト以上に"ロータリアンの識IT率"にも関心を持つ必要があると思います。

結 語

ロータリーに於けるリーダーの資質は業界のリーダーの資質とは以上の点で少なからず異なるものであることを お話ししました。



[~]2008年3月9日(日) ウェスティンナゴヤキャッスル

地区副幹事 成 瀬 和 男

3月9日(日)ウェスティンナゴヤキャッスルで国際ロータリー第2760地区次年度地区チーム研修セミナーが開催されました。

江崎柳節ガバナーをはじめ片山主水ガバナーエレクト、斎藤直美パストガバナー、大島宏彦次期地区研修リーダー、山内登次期会員増強リーダー、各ガバナー補佐、地区委員会全委員長、地区スタッフ等総勢60名のご出席のもとで開催することができました。



【開会の辞】……鈴木輝彦次期地区会計監事がこのセミナーの目的について

- 1. 次年度のガバナーの方針、地区の重点計画の徹底と、今後進むべき方向性を明確にする。
- 2. 次年度の地区の運営のありかたについて、細部を再確認のうえ、活動を円滑に進める。
- 3. チームを発足させるにあたってその結束を固めるということ。 我々片山年度は江崎年度を更に発展、前進させ次の大澤年度に申し送るということでございます。最後 に地区発展のために最大限の御尽力をお願したいと挨拶されました。

【ガバナーエレクト挨拶・講話】……片 山 主 水

次年度RIテーマ「夢をかたちに」

国際協議会で自らの研修報告のなかで、李東建(リー・ドンカン)RI会長エレクトが提唱された、次年度RIテーマ「夢をかたちに」(Make Dreams Real) を紹介するとともに、子ども達は次世代の資源であり、その子ども達の為に「夢をかたちに」したい。また強調事項「水保全保健・飢餓救済識字率向上」に於いては「子どもたちのために」あるような気がする。と解説されました。

次年度地区目標としてのテーマは「持続可能な前進!!」を地区方針とし、中身は組織運営で・会員増強で・奉仕活動で…「持続可能な前進!!」で、無いところは補ない、有り余るところは削り、そして曲がっているところは正し、それをゆっくりとやりたいと、そのような意味がこめられていると説明されました。

更にサブフレイズとして、ロータリーに関心を持ってくださいと、「ロータリーに心を、あなたの心を、 それからロータリーを心に、あなたの心に、ロータリーをあなたの心に取り入れて下さい。」という主旨とし てあげられ、両方ひとつご愛顧をお願いしたいと心をこめて語られてました。

次に重点事項として

① ロータリーの綱領(目的)の再確認



次年度地区チーム研修セミナー報告

- ② 地区 分区 クラブの管理運営機構の整備
- ③ 『調和の奉仕』
- ④ 人的・物的資源の維持強化(研習・会員寄金増強)
- の4項目について説明をされました。

公式訪問について、ガバナーがクラブ協議会をやらないという公式訪問になっているのでクラブ協議会を する方向に変更したい。

分区運営委員会の設置 各クラブ間の利害の調整・共助、共助とは共に助けること。

特別月間の新設 7月を『ロータリーを考える月間』とする。

IMの名称 正式名称を分区大会とする。

IM=『愛笑』として愛知県の愛と笑うです。

当地区2760地区の名称についてロータリアン、まして一般の人にも解りにくいので『ロータリー愛知81』 81は81クラブという意味でそんなような楽しくやりたいと思っていると、最後はちょっぴりジョークの効い たソフトな提案で講話を閉められました。

懇親会は8分区のテーブルに分かれ、各分区担当次期ガバナー補佐を中心とし、連携委員会委員長、分区 幹事及び地区副幹事・地区スタッフの初顔合わせもあり、名刺交換等、交えながら宴たけなわなうちに宮崎 次期地区幹事の閉会の言葉にて閉められました。









2008年3月16日(日)

ウェスティンナゴ ヤキャッスル

◆ 開会の辞 ◆ ····· 次期地区会計監事 鈴 木 輝 彦

「本日のセミナーは、次年度の会長・幹事に新年度がスムーズに出発できるように、情報を皆様に伝達するための重要な会議であり、RIのテーマと地区のテーマを理解し次年度のクラブ計画書作りに生かしていただきたいこと、地区とクラブとの間のパイプを太くするという事によって今後のクラブ活動はより効果的な成果を活用していただきたいと思います」と開会の辞によりはじまった。



◆ ガバナー挨拶 ◆ …… ガバナー 江 崎 柳 節

江崎ガバナーは今日このPETSを開催するに至るまでに片山ガバナーエレクトをはじめガバナー補佐、地区役員は度重なる研修、準備を備えた専門家揃いであり、この方達が81クラブ次年度の運営にお手伝いをさせていただきます。

「わが国は今、ロータリー人口が5年前と比べると、減少率は15%もある。そのためにRIの検証・反省からみえてくるCLPを検討する必要がある。

クラブというのは、本当に素晴らしい人達の宝庫であり、思う存分面白く、そして今年のテーマに沿った運営をして頂きたい、1年というのは本当に短いもので、その間に自分なりにやりがいのあった1年にしていただけますよう、お祈りいたします。」

次期地区研修リーダー 大島宏彦

会員が減るのは私共永年の頭の痛い問題であり、会員を減らさないようにするには、会長・幹事に、例会の 充実とビジターの歓迎、その他の負担はかけないようお願いしなければいけない。今日一日大変でありますが よろしくお願いいたします。

◆ ガバナーエレクト挨拶及び講話 ◆ ······ ガバナーエレクト 片 山 主 水

片山ガバナーエレクトは「PETSの目的は会長・幹事が自分の職責職務クラブにおける立場を自覚認識し、次年度の計画・立案の前提にRIのテーマと地区の目標を知ってもらう。またクラブ間の情報、意志の疎通をはかり、各クラブ間の共助が必要となる」と述べられた後、次期RIテーマ「夢をかたちに」と強調事項の「水保全保健・飢餓救済識字率向上」及び新年度片山ガバナーエレクトの地区方針「持続可能な前進!!」と重点事項

- ①ロータリー綱領(目的)の再確認
- ②地区 分区 クラブの管理運営機構の整備
- ③『調和の奉仕』
- ④人的・物的資源の維持強化(研習・会員寄金増強)についての講和がなされた。



2008-2009会長エレクト研修をミナー(PETS)報告)

◆ PETS委員長講話 ◆

次期クラブ奉仕委員長 藤原 研 一

クラブリーダーシッププランがございまして、魅力あるクラブにして、クラブの活性化をお互いに切磋琢磨 してレベルアップしながら会員増強・退会防止をしていきたい。

次期職業奉仕委員長 成 田 洋 之

職業奉仕とは、ロータリアン個人が、自己の職業を持って社会に奉仕することです。ロータリーの原点・ロータリーの運動の根幹とか言われます。

この職業奉仕という言葉は、ロータリーでしか使われません。ロータリーの専門用語です。他の奉仕団体と異なる点は、提議づけられている点です。綱領によっても示されております。綱領の主文には、有益な事業の基礎とか、付帯事項第2の前は、職業奉仕の原点になっているそうです。職業奉仕委員会の役目は、各クラブ会員に対して職業倫理を享受し、職業奉仕の仕方を奨励し、これを実践するよう鼓舞・激励となっております。委員構成は、パストガバナー、カウンセラー2名、正副各委員長1名、委員9名、次年度活動は研修セミナー、地区協議会、10月の職業奉仕月間各クラブでの卓話、ビデオ放映など各クラブのロータリアンに職業奉仕、理念の徹底とそれに伴う実践に協力したいと思っております。

次期社会奉仕委員長 西 脇 良 一

この社会奉仕委員会は社会生活において、楽しく住みよい状況を作ろうということで、クラブ奉仕、職業奉 仕についで発生したものであり、親睦・友愛・奉仕の心を真にして、国際奉仕まで貫かれていると思います。 そこでの基本理念は、人間尊重、地域開発、環境保全、そして共同奉仕があります。次に活動の目的を大きく 分類しますと、福祉の部門・環境・安全生命・文化教育・健康スポーツ等多数あります。

内容的に一部記しますと福祉に関しては、障害者施設・児童養護施設・交通遺児・スペシャルオリンピック 等への支援・寄付。

安全生命に関しては、AEDの施設・寄付・講習会・被害者サポートセンター愛知への協力。 文化教育部門では、博覧支援等。

かなり範囲が広く種類も多く、多様性をもっております。新年度計画には、継続としてAED設置、名古屋 城本丸御殿の建設協力等も名様の活動が無理なく楽しい有効プランに取り組みたいと思います。

次期国際奉仕委員長 鈴 木 吉 男

我々WCS委員会と青少年交換委員会と2つの小委員会で 構成されています。WCS活動では、ロータリアンの皆さん から地区一任という形でいただいております。各クラブ国際 奉仕委員長の皆さんには現地視察へ参加していただき、色々 勉強されると更に新しい展開ができると思います。青少年交 換においては、学校からの推薦があっても、ロータリー側に 受け入れ予定がないと断られる、全国青少年交換地区委員長 会で情報を聞きます。いつも同じ位の人数12~15名がベスト





と思います。学生さんが皆さんのロータリーにお邪魔し推薦の話がありましたら推薦いただくようお願いします。

次期新世代委員長 遠 山 堯 郎

新世代委員会というのは、青少年育成事業です。ガバナーから期待と責任を持たれている委員会ですが、残念ながら十分理解されておりません。青少年育成という事におきましても、当委員会をご理解いただきたいと思います。新世代委員会の中のライラ委員会は、次年度から3年をかけて実行委員長と地区ライラ委員長との改良をと思っております。

今年から地区内81クラブを対象に卓話のご要望があるところにお邪魔したいと思っております。

09年度、大澤ガバナー年度に23年ぶりの全国ローターアクト研修会が、名古屋の地で開催されます。各クラブにご要請を申し上げなければならないと思っております。

次期環境保全委員長 長瀬 諭

ロータリー全体で、同じ環境を共有するという事、各クラブの広報支援・情報提供が肝心なのかなという考えで、3年目になりました。年2回の委員長会議のうち1回は、環境見学会です。次年度のガバナーエレクトの提案で、5月30日のゴミゼロから、6月5日「環境の日」とロータリーとして、「環境週間」と位置づけをし、色々活動してほしいとの事、賛同し次年に設定し、各クラブにお願いしようと思っております。環境委員会は社会奉仕委員会のわかれでございまして、同委員会と協調し合い進めていきます。

次期ロータリー財団委員長 深 谷 友 尋

ロータリー財団は、ロータリーを通して世界の子ども達、世界の飢餓、それを必要とする人達にロータリアン自らが出かけて行って提供するプログラムです。

ロータリー財団は、4大奉仕プラス今の新世代、環境保全の委員会をサポートする財団です。ロータリー財団は、小委員会が8つあります。出向していただいている81クラブから48名の皆さんが出向しています。

世界平和の為、ロータリーとしてお金をだしていただくというだけではなく、そのお金を活用していただきたい。そのお金をもってロータリアンとしてお出かけしていただきたい又、日本の地域の中にも地域の皆さんの為に使っていただきたい。

ロータリーは、継続事業です。1988~2005の間に500万人の子ども達が救われたポリオ撲滅も99%まで達成してきている。後4ヶ国の子どもにもワクチンを、とRI国際ロータリーは呼びかけています。

本年度のテーマは、「ロータリーに心を!」ロータリー財団のお金は寄付行為だけではなく、補金制度で各クラブの活動を幅広く使うプログラムです。ご支援お願いします。

次期米山奨学委員長 大 西 弘 高

アンケート調査から5人に1人が、米山って何?です。例会の時に米山奨学事業の事をお話しする機会を多く作ってほしいと思います。年に4~5回、忘年クリスマス会、学友を集めた総会、企業見学会等行っております。直接奨学生と会ってお話をする事が米山奨学事業を理解するのに一番大事だと思います。米山も世界平和・アジア平和の為に頑張っています。現在、米山の寄付は、全国で15億円集まっております。それで800人の奨学生を支援しています。愛知県に関しては7000万円強で、2006~2007年度は全国5番目になっております。一人当たり平均14000円を全国平均を上回る15000円の希望を持っております。地区の年間事業のご案内を出します。クラブ米山委員長、カウンセラーだけでなく、多くのロータリアンに参加していただき米山例会の素晴らしさを知っていただきたいと思います。

西三河中分区IM 報告

	2008・3・8(土) 岡崎市竜美丘会館
西	三河中分区ガバナー補佐 杉 浦 壽 康
登 録 数	300余名
テーマ	ロータリーをより楽しもう ~ロータリー過去・現在・未来~
実行委員長	蜂須賀 利 雄



西三河中分区I.M. は2008 年3月8日(土)に岡崎RC (蜂須賀利雄会長)のホスト により竜美丘会館(岡崎市) を会場に開催された。特別出 席者として江崎柳節ガバナー、 河村嘉男地区幹事、堀井武地 区副幹事(西三河中分区担 当)にご出席賜り、記念講演

講師に本年度地区研修リーダー豊島徳三パストガバナーをお迎えし、分区内から300余名ロータリアンの参加を得て、午後1時ガバナー補佐の点鐘により開会式が始められた。

国歌「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」(杉浦 皓ソングリーダー)の斉唱。続いて開会にあたり杉浦恵 造実行委員長(岡崎RC)が「ガバナーの運営方針『違 いをもたらそう』のもとに今後のロータリーの特色ある 『奉仕』と『親睦』について学びたい。そして各クラブ の交流とメンバーの親睦を深め、有意義な会になること を祈っている」と挨拶。次いでホストクラブを代表して 蜂須賀利雄岡崎RC会長が「I.M. はロータリーに関して 情報を交換し、勉強し、親睦を図る会であり、今日一日 しっかり勉強されるようお願いします。また、岡崎には 徳川に関する遺跡のほか多くの遺跡があり、是非日を改 めてこれらの遺跡を訪ねてください」と歓迎の言葉を述 べた。引き続き特別出席者、パストガバナー、記念講演 講師および参加ロータリアンの紹介が行われた後、ガバ ナー補佐が「世界では変革が起きている。創立100年を 経たロータリーとて無視できない。今後100年を見据え、 ロータリーを今より更に楽しむためのロータリーの姿を 求め皆さんで話し合おう。」と今回のI.M.への思いをこ め挨拶を行った。最後に立った江崎柳節ガバナーは 「I.M. は分区内各クラブ今期の集大成の晴れ舞台であ り、分区の最大にして有終の美を飾る大イベントである。 I.M. は希代のヒーロー集団がクラブを越えた理解と学 習と団結をshare (分かち合いを) する場である」と本 I.M. に対する期待を述べられ開会式を終えた。

次いで「ロータリーの歩み」と題し地区研修リーダー

豊島徳三PGによる記念講演を拝聴した。ポールハリス の生い立ちから始まりロータリー創設に至る辿った道こ そロータリーの原点である。そしてポールハリスは「本 当の友」を求めたのがロータリーの始まりである。さら に日本のロータリーの歴史にも触れられ日本の最初の ロータリークラブである「東京RC」あるいは2番目の 「大阪RC」の創立の経緯、初期の活動状況を紹介され、 また第二次世界大戦のときRIから脱退、終戦後に復帰 の際の経緯にも触れられた。こうした歴史については寡 聞にして初めて伺うことばかりであった。特に、ポール ハリスが「本当の友」を求めたのがロータリーを創る 切っ掛けと伺い、荒廃した社会にあって、ポールハリス は恐らくお互いに理解し合える仲間を持つことにより 「何か」が出来ると考えたのではないだろうか。この事 は現代を生きるわれわれ(ロータリアン)にも通ずるこ とではなかろうか。

次いでパネルディスカッションに移った。 司会はガバナー補佐(杉浦)と本多啓一補佐幹事が行った。本I. M. のテーマ「ロータリーをより楽しもう~ロータリー 過去・現在・未来~」のもとに分区内9クラブから推薦されたパネリストによる「未来のロータリーの在り方」についてそれぞれの立場で個人の意見の発表を聞いた。9人の発表内容をまとめると、1)広報、2)社会奉仕、3)新世代に関する問題、4)会員増強、5)地区運営など多岐にわたり今後の在り方が述べられ、今後の活動に大いに参考になったと思われた。参加者全員による議論が、司会の不手際でいま一つ盛り上がらな

閉会式ではガバナーより本I.M.についての講評をいただき、次期ガバナー補佐と次期ホストクラブの紹介を行い、ガバナー補佐の閉会の点鐘で本会議の幕を閉じた。

その後懇親会に移り地元「楽風打(らふうだ)」による太鼓の演奏を楽しみながら親睦を深め最後に「手に手つないで」をみんなで歌い午後7時閉会した。

かったのがやや残念であった。



2008・3・15(土) 豊橋グランドホテル								
東	夏三河分区ガバナー補佐 神 野 武 郎							
登 録 数	407名							
テーマ	違いをもたらそう・・・魅力あるクラブ活動							
実行委員長	西義雄							



東三河分区のIMは、「違いをもたらそう・・・魅力あるクラブ活動」をテーマに掲げて、分区内の13ロータリークラブの協力による手作りで開催させていただきました。ホストを務める豊橋東RCは、創立12年目の分区内では最も

新しいクラブで、当然ながらIMを主管するのは初めてであります。とにかく、楽しく有意義なIMにするには、試行錯誤の中にも40名の会員が一丸となって真心を捧げて取り組むことだと、ひとり一人が役割を分担して準備を進めて来ました。



IM当日は、晴天に恵まれ、特別出席者としてご来賓の江崎ガバナー、河村地区幹事、落合東三河分区担当地区副幹事をはじめ、当分区からは石川パストガバナー、松井次期ガバナー補佐、そして七人のパストガバナー補佐にご臨席いただきました。また、分区内の13クラブからは、会場一杯の400名を超えるご登録・ご参加いただき、初めて体験する私どもへの温かい励ましに勇気をいただきました。

第一部の式典で、江崎ガバナーから東三河分区の各クラブの活動をお褒めいただき、「IMの狙いは、勉強と親睦を通して、新たな出会いの中で会員同士が知己の間柄になっていただくことにあります。同時に、分区内の

さらなる団結を深めて欲しい」とご挨拶いただきました。

第二部のフォーラムは、I Mテーマの下に、各クラブから選ばれた発表者が画像を使って、それぞれロータリーならではのクラブや地域のニーズに応えた素晴らしい活動を発表していただきました。発表の後、石川パストガバ



ナーから継続事業の取り扱いなど明快なアドバイスをいただきました。参加者全員が、各クラブの活動に共通点や違いを見つけ、新たな活力を得た思いになれば幸いであります。最後に、江崎ガバナーから心温まるご講評をいただき、約3時間半にわたる本会議(式典・フォーラム)を終了いたしました。

第三部の懇親会は、河村地区幹事にご挨拶いただき、松井次期ガバナー補佐の乾杯で開宴、最後まで和気藹々と歓談が弾み、分区内の友情の絆が深まったものと感謝しています。終盤に入り、江崎ガバナーからGSEの紹介をいただき、GSE派遣メンバーの杉浦さんたちによるピアノとバイオリンでの演奏を楽しんでいただき、最後は恒例の参加者全員で「手に手つないで」声高らかに歌って、楽しく懇親会を閉じました。長時間にわたり、参加者全員がIMを盛り上げていただき、ホストクラブを代表して心から御礼申し上げます。



2008 · 3 · 2	22(土) ミッドランドホール及び名鉄グランドホテル
	西尾張分区ガバナー補佐 鈴 木 孝 則
登 録 数	473名
テーマ	ロータリーの価値
実行委員長	堀 江 承 元



史上最大のIMとなった。

本年度西尾張分区IMは、ホ スト・あまロータリークラブに より2008年3月22日(土)、ミッ ドランドホール及び名鉄グラン ドホテルにて開催された。

IMテーマを「ロータリーの 価値」とし、全員参加を求めた ところ473名の登録を得、分区

9クラブの会長が「会長の思い」と題し、日頃の思い をそれぞれ述べた後、プログラムの目玉「直前、現、次 期3ガバナーによる討論会『ロータリーの価値』に 入った。



まず3ガバナーがイニシエーションスピーチとして ロータリーの価値についてそれぞれのご見解を10-15分 程度話され、討論が始まった。

さすが我等のガバナー、ご見解は、非常に格調が高く、 我々に沢山の示唆を与えてくれた。画像を駆使し、スク リーンを使うビジュアルな説明や軽妙な話で会員を強く 惹きつけ、全く飽きさせることはなかった。

切り口が違っていても3ガバナーロータリーの価値に 対する思いは、討論を要するほど違いが無いように思わ れ、3ガバナーと会場ロータリアンとの討論に切り替 わった。

江崎柳節ガバナーは地区テーマ「違いをもたらそう」 の解説、斎藤直美直前ガバナーは「ロータリーにおける 格差の進行」と「ロータリアンの学習システム不足」を 指摘され、そして片山主水ガバナーエレクトは「議論よ り奉仕の実践」を強調された。

会場からは、「会員が激減している。地域には増強し たくても企業がない。どうしたら良いのか」、「ロータ リーは『老舗うなぎや型』を目指すのか、それとも 『ファミレス型』を目指すのか」、「ロータリークラブと ライオンズクラブとの違いを一般の方に一言で分かり易 く説明するには?」、「地区はCLPにどのように取り組ん でいくのか」等、沢山の質問や意見が述べられ、3ガバ ナーはそれぞれ回答された。

最後の発言者は入会1.5年の女性会員で、「あまり難し い理論ではなく、もっと親しみ易い分かり易いロータ リーであって欲しい」というのが印象的だった。

会場を名鉄グランドホテルに移して懇親会が開かれた。 神戸政治パストガバナーの「お礼の言葉」、豊島徳三パ ストガバナーの「乾杯音頭」で始まり、9クラブ会員が 一同に会しての懇親会が盛況のうちにお開きとなった。

出席者の多くの方々から「格調の高い素晴らしいIM であった」と言われ、あまクラブ会員、関係者はほっと している。





2008・3・29(土)名鉄犬山ホテル						
東尾張地区ガバナー補佐 清 水 勲						
登 録 数	534名					
テーマ	ロータリーは分かちあいの心					
実行委員長	場々大刀雄					



一点の曇りもない晴天の下、 国宝犬山城を見上げ、桜もほぼ 満開という春爛漫、最高の状態 でI.M.を挙行できましたこと はこの上のない幸せでした。江 崎柳節ガバナー、片山主水ガバ ナーエレクト、福田浩三パスト ガバナー、福田清成パストガバ

ナーをはじめとして、多くのお客様と、11クラブ全員の ご登録を頂き、盛大に開催されましたことは誠に光栄で ありました。皆様方に深く感謝申し上げます。

式典は、場々大刀雄実行委員長による開会の言葉での 「ロータリー奉仕の基本」や、松尾隆徳ホストクラブ会 長の「ようこそI.M.へ」の歓迎の言葉に始まりました。

特別出席者紹介および参加クラブ紹介の後、私は11R Cへのガバナー補佐訪問に対して各クラブから心配りを していただいた御礼と共に、当分区のロータリークラブ が地域社会に対して行われました催しの一部をご紹介申 し上げました。小牧RCでは「人道に対する国際会議」 を企画され、又犬山RCでは「子供のいじめ問題につい てのフォーラム」、江南RCでは小学生による「国際環境 絵画展」、尾張旭RCで開催されたヤングミュージック フェスタなど、各クラブで夫々に工夫を凝らした行事が 開催されました。江崎ガバナーより格調の高いご挨拶を 賜り第一部の式典を終了しました。

第二部の記念講演は作家で文化功労者の曽野綾子様の 「貧困の光景」~本当の貧しさを知らない日本人の精神 の貧しさを問う~をテーマにお話をいただきました。曽 野様は世界120カ国を廻って貧困の光景を自身の五感で 体感された方で、本当の貧しさは今晩の食事が出来ない 生活、家族の一日の食事が1ドルに満たない人、エイズ 患者から生まれた赤ん坊がHIVプラスになるのは、授 乳が原因であるが、授乳をやめさせて粉ミルクで育てる ようにしたらこの悲劇は防げると思いましたが、実は粉 ミルクを溶く水が汚く、エイズを発症する前に赤ちゃん は下痢で死んでしまうというお話など、多くの日本人が 全く認識できていない現実の数々を話されました。



第三部フォーラム分科会では、11RCの会長さんにパ ネリストとして、それぞれのテーマに沿った考え方を披 露していただき、本会議場にて各分科会の報告をしてい ただきました。

第一分科会 テーマ「例会場での純粋親睦について」 第二分科会 テーマ「ロータリーにおける利己と利他の 調和について」

第三分科会 テーマ「地域社会に対する奉仕の理想と は」

第四部ではRI第2760地区片山主水ガバナーエレクト の紹介とご挨拶、安藤公爾次期東尾張分区ガバナー補佐 の紹介とご挨拶の後、江崎ガバナーのご発声により懇親 会が始まりました。世界中の困難な状況にある子供達の 支援活動で活躍しているオペラ歌手堀澤麻衣子さんの~ 祈り~の歌から音楽を楽しみながら互いに酒を酌み交わ し、友情を深めることができました。最後は全員での 「手に手をつないで」の大合唱で閉会となりました。 今回、このような盛大なI.M.が成功裡にできましたの も江崎ガバナーをはじめ、関係各位の皆様のご協力、ご 尽力の賜物と心より感謝申し上げます。



創立45周年記念式典および記念事業

会長 山 内 國 雄

去る3月21日、一宮北ロータリークラブは創立45周年を迎え、一宮商工会議所3階ホールにて記念式典を開催致しました。当日は皆様多忙の中、一宮市長 谷 一夫様、一宮商工会議所会頭 佐々木光男様、 江崎柳節ガバナーを始めとするロータリー関係の皆様方、又報道関係の方々に出席を賜り、記念すべき式典となりました。

思い起こせば記憶に残っている行事、出来事は沢山ありますけれど、中でも1990年ペナンRCとの姉妹提携、1991年に一宮中央RCのスポンサークラブとなり、松前、長谷川両君がチャーターメンバーとなられました。 又、2003年には現役経営者である当クラブメンバーの豊島徳三君がガバナーに就任し、指導を発揮され、高い評価を受けられたことです。

本年のウィルフレッド J. ウィルキンソン国際ロータリー会長のテーマ「ロータリーは分かちあいの心」のもと私達のクラブは記念事業として次の事業を展開させて戴きました。米山奨学会への寄付金、ロータリー財団への寄付金を江崎ガバナーに寄贈いたしました。又一宮市長にはAED(自動体外式除細動器)を二台贈呈しました。一台は一宮スポーツ文化センターへ、もう一台は豊島図書館へ設置される予定です。

この後、祝宴に入り、和やかな雰囲気の中で食事をとりながら親睦を深めました。最後に皆で「手に手つないで」を大きな声で歌い、出席者全員で写真撮影をして閉会としました。思い出に残る式典でした。









米山奨学期間終了者歓迎会及び指導教員への会

米山奨学委員会委員長 大 西 弘 高

日時:2008年3月1日 場所:キャッスルプラザ

今年も28名の奨学生が米山奨学期間を終えて、母国へ帰る人、日本の企業に就職する人、さらに上級の学校へ進学する人等が卒業されて行きました。

会は、江崎ガバナーはじめ多くのロータリアンの参加のもと、一人一人から、米山奨学生としての思い出話やカウンセラーへの感謝の気持を全員から聞く事が出来ました。指導教員の先生からも、米山奨学制度は他の奨学制度にない素晴しい制度であると感謝の言葉をいただきました。

米山奨学生終了証を贈呈し、カウンセラーには感謝状を贈呈し、全員で会食、懇談して別れを惜しみながら終了しました。

渥美RC奨学生馮蕾

米山ロータリー奨学生として二年間に米山ロータリーと渥美ロータリークラブの様々な皆さんから親切なご指導をいただきまして、誠にありがとうございます。渥美ロータリークラブの皆さんと触れ合ってから、あっという間もう二年間が経ちました。皆様から学校で習得できないことが勉強できて、充実した二年間を過ごすことができました。熱田神宮の祭り、伊勢神宮へ初詣、また愛知県陶磁器資料館などの文化見学から、日本文化の魅力をより深く感じることができて、大変良い勉強になりました。

文化だけでなくカウンセラーの木村さんをはじめ、皆様が私のために産業見学も用意してくださいまして、心から感謝しております。中部電力の渥美半島発電所と風力発電現場の見学を通じて、日本の先進的技術のすばらしさに驚くと同時に日本の会社はどれだけ環境保護のことを配慮するかを実感できました。一方、自国の中国では、その面においては、まだまだ足りないところがあることを痛感いたしました。

渥美半島は国内有名な農産地と言われ、畑を見たことのない私にとっては、大変よい勉強する機会になりました。現場見学をしながら、JA農協の村上さんに説明していただきまして、日本の農家はどんな生活をしているか、野良仕事とはどういうふうにするかが分かりました。私の実家は海とはかけ離れたところにあるので、魚介類に対する知識がほとんどなかったです。愛知県漁業栽培センターを見学させていただいて、アワビの子供たちとはじめて会えて、とても感動しました。

医王寺の見学を通して、伝統的な日本の美を体験することができました。美しい庭園を造ることと、神様や先祖を尊敬し、大事にする気持ちとが、そこで結合されて、心を癒してくれました。

私は愛知大学で中国のお茶講座を開いたことを知ってから、日本茶道の体験見学を用意していただきました。その経験を活かして、受講生に日本と中国の茶道を比較しながら説明することができて、好評を得られました。その達成感の気持ちはみんなと分けたいと思います。

私の修士論文の作成を手伝うため、昨年の秋に20人ほど渥美ロータリーの方々と一緒に西安で現地調査を行いまして、皆さんに地元を紹介しながら皆さんからアドバイスをたくさんいただきまして、他の角度からの認識ができ、大変勉強になりました。

夏時ロータリーの家族と一緒にBQへ行って、すごく楽しかったです。クリスマスパーティーなど沢山の行事があって、どこに行っても、素敵な笑顔、暖かい雰囲気、親切な対応でした。その中に自分という人がいて、本当に幸せでした。それらの思い出が自分にとって宝物で、一生忘れられません。

熱田神宮の金魚すくい、有松の布絞り、瀬戸の陶磁湯のみ作りなどいろいろな面白い体験もできて、留学生活に多彩な色を付けてくれました。

渥美のかわいいトマト、綺麗な菊は、一つ一つたっぷり愛情で育てられた物です。自分も、そのひとつのトマトみたいに、渥美ロータリーの方々から愛されてきました。

留学生である私にさままざまなことを体験させてくださいまして、ありがとうございました。数多くの留学生の中の一員としての私がロータリーに選ばれて、光栄の至りです。今後米山の奨学生から米山の学友生になっても、ロータリーの誇りをもって、ロータリーから得たものを今後の人生に活用して、人へ、環境へ、優しくというロータリー理念を念頭において、ロータリークラブの活動を機(きっかけ)にし、日本と中国の架け橋として、中日友好のために力を尽くしたいと思います。

中国にはまだロータリーの組織はありません。現在中国現地でロータリーを作っていると聞いております。私ができる

ことなら、多くの留学生に私みたいにロータリーの光を浴びさせるために、なんでもやりたいと思います。

今後とも米山ロータリー、渥美ロータリー皆様に自分の成長を報告しつつ、緊密に連絡したいと思っています、皆さんからのご指導、ご鞭撻を是非よろしくお願いいたします。

名古屋東南RC奨学生 楊 蓓蓓

私はやんべいべいと申します。本日個人的な理由でこんな素敵な会に出席ができないことに非常に遺憾と思っております。そして、直接に感謝の気持ちを伝えられないことも申し訳ない気持ちがいっぱいです。

私は米山奨学生になって2年間、あっという2年間でしたが、非常に充実した2年間でした。初めてロータリー米山記念奨学会という言葉を耳にしたのは、私大学入学した時でした。そのとき、大変競争率の高い奨学金であることを知り、無知な自分にとってはとても手が届かないところにありました。しかし、2年前、自分の誕生日の日に学校から米山奨学金の合格通知を渡されたときは、本当に驚きや幸せでした。こんな素敵な誕生日プレゼントはこれまで初めてです。なぜなら、米山奨学生一員になれるということは、私にとっては非常に光栄であり、誇りでもあったからです。

米山奨学生になった最初の頃は、ロータリーの理念の一つである「国際奉仕」と「他者理解」への意味はあまり深く理解できませんでした。そして、毎月の例会に出席し、いろんな行事にも参加させていただき、ロータリアンの方々を一人一人みておりました。私が不思議に思ったのは、なぜみなさん忙しいと言いながら、本業のお仕事を完璧にこなし、さらに米山奨学会のお仕事も一生懸命にするのか。なぜ自分の時間とお金を削るまで他人を助けようとするのか、胸の底から知りたいという気持ちに駆られました。

この疑問を解けるのに、時間はかからなかったです。多くのロータリアンの方々は口では直接言わなくても、是非を問う以前に、損得を考える前に、私のような留学生たちや世界中の困難な状況に陥る人々へ支援していました。これはただの口約束ではなく、ロータリアンの皆さんはちゃんと実行し、行動に移したのです。そして、ロータリアンが支援した数多くの相手からの感謝を求めなく、ただ遠いとこころに暖かく見守っていました。

かえて、このような行動は決して自分がロータリアンのようにできるかどうかを想像してみましたが、愚かな私は非常に難しいと感じました。なぜなら、相手が感謝するかどうか、私は支援する価値があるかどうかとずっと私が思っていたからです。ロータリアンの皆さんがこれまでしてきた事はどれぐらい偉大であることを再確認できました。そして、今、私は米山奨学生として、ロータリアンの行動を実際に目にし、「奉仕」「理解」の新たな意味を認識することができました。

米山奨学生になったこの2年間、経済的な面だけではなく、精神的にも豊かにさせて頂きまました。「ありがとう」という言葉だけでとても私の気持ちをまとめられません。これから学友になっても、この2年間で学んだ国際奉仕や他人理解の精神を心にしまいたいと思います。ロータリーソングのように、国籍と関係なく、同じ人間として、手に手をつないで、輪に輪つないで、真の奉仕の輪を広げたいと考えております。

長くのご清聴ありがとうございました。

名古屋錦RC ン・チ・クン

改めまして、米山奨学金をいただいて、本当に心から感謝しております。生活上の支えだけでなく、4年生の私にとって、大事な卒業制作にもより順調に進められ、無事に卒業できるようになったことはすべて米山奨学金のおかげです。

米山奨学生として、いちばん勉強になったことは、やはり日本人との触れ合い機会が多くなっていて、そして日本文化への認識と理解ももっと深まるようになったことです。それは地区と世話クラブの行事を参加することによって、いろいろな体験ができるからです。例え、10月にクラブ職場見学会に障害者の生活を以前より理解できました。11月に地区大会にいちばん嬉しかったのはデュック先生の授業に参加しました。12月にはクラブの忘年会に参加し、しかもクラブの落合さんのおかげで、初の着物姿を皆さんに披露し、こんなに盛大なクリスマスパーティをエンジョイするのが初めての体験でした。1月に日本人にとって1年中最も大事なのは初詣のことではないでしょうか、したがってクラブもこの行事を入れて、私まで誘い、またもや正式な初詣は初体験の私でした。

最も重要な体験は、やはり卓話ということです。卓話することによって、私にいくつかのメリットを与えられました。なぜかというと、まず、人前で話すのが苦手な私、この機会を通して少しでも成長ができ、本当に嬉しかったです。次は、名古屋ではマレーシア料理がなくて、より多くの日本人にマレーシア料理のおいしさと良さもこのコーナーでアピールしました。もしも、私の紹介にわりマレーシアへ足を運んだ人がいたら、どんなに嬉しいことではないでしょうか、これが私の狙いでした。

最後には、短い1年間ですが、いろいろなことを体験させ、マレーシアへ帰っても、たくさんの思い出が心の中に残りました。総会の担当様、地区の担当様、クラブ事務局の二人のきれいなお姉さん、小椋会長、日比野幹事、落合様、鬼頭カウンセラー、寺西前会長、あと他に名前を忘れてしまいました皆様、いつもお世話になっておりまして、本当にありがとうございました。



地区ロータリー財団委員会

委員長 深 谷 友 尋

本年度DDF選択会議は、2008年3月9日(日)、ウェスティンナゴヤキャッスルにて開催され、下記のように決定されました。

基礎計算	(2006-07斎藤ガバナー年度寄付)		
	年次寄付金		548,401.87ドル
	恒久基金		30,473.00ドル
当地区2009-10年度DDF			
	年次寄付の50%		274,200.94ドル
	恒久基金の運用収益額の50%		15,236.50ドル
	前年度DDF繰越(※予測)		315,448.25ドル
	合 言	†	604,885.69ドル
シェア選択内容			
 1. 人道的分野	地区補助金(2009-10年度 D D F	の20%)	57,887.00ドル
	マッチング・グラント		10,000.00ドル
	計		67,887.00ドル
2. 教育的分野	1 学年度奨学金	24,000×4名	96,000.00ドル
	マルチイヤー奨学金	24,000×6名	144,000.00ドル
	文化研修奨学金	11,000×1名	11,000.00ドル
	世界平和フェローシップへの寄	贈	25,000.00ドル
	GSEオリエンテーション助成	金	500.00ドル
	計		276,500.00ドル
3. ポリオ・プラス・パートナー			10,000.00ドル
	計		10,000.00ドル
4. 災害援助			15,000.00ドル
			15,000.00ドル
	総合言	†	369,387.00ドル

以上、ご報告申し上げます。

西名古屋分区。東名古屋分区社会軍仕酉員長会議の活動報告

(社)被害者サポートセンターあいち「10年のあゆみ」の記念誌贈呈

名古屋西RC·社会奉仕委員長 片 桐 清 志

西名古屋分区と東名古屋分区の名古屋市内23RCの社会奉仕委員会は両分区合同で、社会奉仕活動を行っている各種団体を支援するプログラムを毎年実施しています。RC単独では予算的に支援が困難なケースでも23RCが力を合わせればかなりまとまった支援ができます。本年度はスペシャルオリンピックス日本・愛知への支援と犯罪被害者の救済活動を行っている(社)被害者サポートセンターあいち(愛称あいポート)への支援を実施しました。本稿では「あいポート」の支援内容を紹介します。



「あいポート」は犯罪被害者やその家族の精神的被害の回復、軽減を支援する目的で1998年2月に愛知 県知事の許可を受けて設立された社団法人で、会長は髙橋治朗パストガバナーです。活動内容は年間600 件を超える電話相談を中心に、警察・裁判所への付き添い、被害者自助グループの活動支援、支援員の研 修等です。犯罪被害者の増大に伴い「あいポート」の活動範囲も広がり支援案件数も増加していますが、



財政事情は収入の大半を賛助会員に依存しているため厳しい状況が続いています。今年2月に設立10周年を迎えることから、市内23RCでは今までの活動を取り纏めた記念誌「10年の歩み」の発行を支援することにしました。記念誌は700部発行され、支援員の研修教材として活用するとともに、賛助会員への活動報告、新規会員勧誘用ツール、同様の活動している他地区仲間への情報提供等に活用されます。

10周年記念式典が2月16日に愛知県知事、愛知県議会議長、愛知県警本部長等の来賓を迎え中電ホールで開催されました。市内23RCの社会奉仕委員長もこの式典に出席し、市内23ロータリーを代表して本年

度ホストクラブの名古屋名北RC松岡三明会長から記念誌の目録贈呈を行いました。また「あいポート」からは各RCに感謝状をいただきました。当日の模様は東海TVのニュースをはじめ、中日新聞・読売新聞・日本経済新聞・中部経済新聞の各紙にも掲載され「あいポート」の活動を多くの人々に認識してもらうこともできました。

名古屋23RCの社会奉仕委員会ではいろんな分野で地道に粘り強く活動している社会奉仕団体にスポットを当て、彼らの活動を勇気付ける支援活動を今後も続けて行きたいと思っています。





RI第2760世区史編纂区あたって

地区史編纂委員会

委員長 江 崎 柳 節

【顧 問】 大島 宏彦(名古屋) 髙橋 治朗(名古屋西) 斎藤 直美(豊田)

【委員長】 江崎 柳節(小牧)

【副委員長】 伊藤 鶴吉(江南)

【委 員】 岩間 俊夫(名古屋西) 内藤 耕造(刈谷) 瀧 義孝(一宮北)

安藤 重良(名古屋) 川島 誠(名古屋西) 藤井 伸三(豊田)

河村 嘉男(小牧) 中野 敏雄(岡崎) 杉浦 令淑(名古屋大須)

内田 栄一(半田)

第2760地区の地区史『進化するロータリー』(仮題)が2008年10月を目標に発刊されます。既に委員会は、昨年6月14日に第1回を、12月13日に第2回、そして今年3月25日に第3回を開催し、活発な議論を通して活動を進めてきています。

地区史は、これまで1987年 6 月に『はばたくロータリー 愛知・長野RI260地区』と1998年 6 月に『かがやけロータリー RI2760地区 1987~ '97』が発刊されていますので、3 冊目になります。

今回は「進化するロータリー」をテーマにして編纂を進めていきますが、既刊の2冊に準じたスタイルを踏襲するものの、激動する社会の中で奉仕活動を続けてきた10年間の地区および各クラブの"進化のあゆみ"を記録として大切に残していきたいと考えています。

特にこの10年の間には、「ロータリー100年」という大きな節目を迎え、さらに当地区において最大のイベントとして記憶に残る「愛知万博」を経験しました。ロータリー館を出展し、全国からの多くのロータリアンと友愛を交わしたことも記憶に新しいことと存じますが、同時に日常での地区およびクラブでの活動を通じて得られた感動を皆様に実感していただけるような内容にしたいと思っていますので、既にご依頼をしています原稿の執筆、資料の収集につきましてご協力をお願いいたします。

あらためて、現在ご依頼しています原稿の作成につきまして記させていただきます。

- ① ガバナー輩出クラブへ依頼しています原稿は、5月23日(金)までにご返送ください。
- ② 各クラブへ依頼しています原稿は、5月23日(金)までにご返送ください。

自馬スキーエクスカーション

青少年交換委員長 安 藤 隆 利

3月25日早朝7時名古屋を出発したバスには、アメリカ・カナダ・フランス・スイス・フィンランド・ブラジルよりの来日学生・帰国学生・派遣候補生・ローテックス及び青少年交換委員ら総勢23名が乗り込み、一路白馬村を目指していました。車中では候補生による英語での自己紹介等のオリエンテーションも行われ、正午前白馬ロータリーの方々の温かい歓迎の内白馬ロイヤルホテルに到着。昼食后スキーウエアーに着替えロビーに集合、開会式が行われました。



白馬ロータリークラブ会長山本氏、2600地区青少年交換委員長山田氏の歓迎の挨拶の後、我々も感謝の答礼をし、スキーの準備に掛かりました。ロビーには我々の他、2600地区へ派遣されて来ている来日学生をはじめ派遣候補生及び我々のスキー指導に当たってくれる白馬高校の生徒さんが温かく迎えてくれ、和気藹々の内バス2台に分乗し岩岳スキー場へ向かいました。



午後の一刻、スキーやスノボーを楽しみ、初めてスキーを履いたブラジルの学生も程々に滑れるようになりました。又この日の天候は素晴らしく、北アルプスの峰々が本当に真近に観え、これも学生達の興奮を一層高めたようでした。

夜には白馬ロータリークラブの例会に出席。会長挨拶等通常 行事の后、参加者全員が 自己紹介をし、学生同士は各自持ち 寄ったバナー交換が行われました。その後学生は学生同士、大

人は大人同士の懇親会が行われ、白馬の第一夜の外は静かに、中は賑やかに過ぎて行きました。

第2日目は生憎の天候で、下は雨上は雪といった状態でしたが、そこは若者、各自が十二分に楽しんでいるように見受けられました。二日目も誰一人怪我をすることも無く無事に過ぎ、夜は食事后2760地区だけで来日学生・帰国生・候補生と夫々問題点を述べ合い、我々委員にとっても今後の参考になる多くの情報を得ることが出来ました。

3日目は9時より閉会式、また来年の再会を約束し固い握手を交わし白馬を後にしました。

年に一度の白馬ロータ リーとの交流会。これは今 年22回目という長い歴史を 持った会で事の起こりは、 昔長野 (2600) と愛知 (27 60) が同一地区であった事 に由来しています。





国際ロータリー 第2760地区 第5回地区諮問委員会

日 時:2008年3月30日(土) A.M.11:00~ 場 所:ウェスティンナゴヤキャッスル

[出席者]

福田浩三P.D.G. 盛田和昭P.D.G. 加納 泉P.D.G. 神戸政治P.D.G. 石川和昌P.D.G. 松本 宏P.D.G. 福田清成P.D.G. 島宏 彦P.D.G. 斎藤直美P.D.G. 江崎柳節D.G. 片山主水D.G.E.

[オブザーバー]

河村嘉男地区幹事 宮崎 薫次期地区幹事 五藤隆夫地区副幹事 舟橋 弘地区会計長 伊藤鶴吉地区大会実行委員長

[欠席者]

奥谷博俊P.D.G. 宮地信尚P.D.G. 内藤明人P.D.G. 野村重彦P.D.G. 太田賢太郎P.D.G. 岡部快圓P.D.G. 豊島徳三P.D.G. 髙橋治朗P.D.G.

- ◇江崎ガバナー挨拶
- ◈協議事項
 - 1. 指名委員会からの答申
 - 2. 2010年RI規定審議会 代表議員変更依頼の件
 - 3. ロータリー財団2009-2010年度DDF配分一覧および推移表
 - 4. ロータリー財団及び米山記念奨学会 各クラブ寄付状況
 - 5. ガバナー補佐候補推薦手続き等要領
 - 6. 分区運営要領
 - 7. ガバナーの空席・職務不能時等に関する内規
 - 8. 米山記念奨学会 評議員推薦依頼の件

◇報告事項

- ・2007-2008年度 地区大会収支決算報告
- ・2007-2008年度 地区資金中間決算報告
- ・2007-2008年度 意義ある業績賞選考結果及び各種表彰の
- ・100万ドル例会の件
- ・ペルー沖地震義援金の件
- ・岡部P.D.G.宗務総長就任の件
- ・2009-2010年度のための地区協議会ホストクラブについて
- ・2008-2009年度のための地区協議会指導者会議資料
- ・2008-2009年度のための地区協議会 分科会指導者名(案)

······ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 国際ロータリー 第2760地区 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ·······

第3回 ガバナー補佐会議報告

2008年3月1日(土)14:00~16:00 於:ウェスティンナゴヤキャッスル 2階銀の間

司会:地区スタッフ 増 井 洋 生

■■■ 式次第■■■

開会の辞

……地区監事 長谷川 弘

・ガバナー挨拶

……ガバナー 江 崎 柳 節 ・地区研修リーダー挨拶 ……地区研修リーダー 豊 島 徳 三

議題1

- 1、各分区現状報告並びにIM中間報告
- 2、各種表彰について(資料No. 1)
- 3、ロータリー財団及び米山記念奨学会 各クラブ 9、NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員 寄付状況 (資料No. 2)

報告事項

5、100万ドル例会の件(資料No. 4)

- 6、ペルー沖地震義援金の報告(資料No.5)
- 7、第16回ライラセミナーの報告(資料No.6)
 - 8、WCS活動報告(資料No.7)
 - 会の件(資料No.8)
- 4、クラブ訪問報告書提出のお願い(資料No. 3) 10、ロータリー財団国際親善奨学生・世界平和フェ ローシップ募集の件(資料No.9)
 - : 11、その他

閉会の辞

……地区幹事 河 村 嘉 男

2008年5月地区主要行事

<地区委員会> ------

◆5月14日(水) 15:30~17:00 第5回IT委員会 ガバナー事務所分室

<地区内クラブ委員長会議> ………

◆ 5 月22日(木) 12:00~15:30 第 2 回環境保全委員長会議

◆5月15日(木) 13:00~15:00 2008学年度 米山奨学 カウンセラー研修会 キャッスルプラザ ◆5月15日(木) 15:30~17:00 2008学年度 米山奨学生のオリエンテーション キャッスルプラザ

◆5月17日(土) 18:00~20:00 第3回米山学友役員会 中華 桃園

◆ 5 月17日(土) 15:00~16:30 JAC第21回海外派遣研修説明会 名古屋YMCA

◆5月24日(土) 14:00~19:00 第3回米山奨学生・学友の学術研修会

◆5月25日(日) 11:00~ 新財団奨学生壮行会兼学友会総会 名鉄ニューグランドホテル

◆5月11日(日) 西尾RC創立50周年記念式典 西尾市文化会館 大ホール

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま98号 ★

2008年4月13日発行

● 今月のトピックス

- 1. 寄付金速報 2007-2008年度も残りあと3カ月-
- 2. 米山奨学生オリエンテーションが全国でスタート
- 3 米山カウンセラー・ハンドブック/米山奨学生ハンドブック発行
- 4. 「ハラスメント相談室」を開設しました
- 5. 大佛次郎論壇賞を受賞 米山学友 朴 裕河さん (韓国) -
- 6. 日本の若者に「志」を語る 一米山奨学生がRYLAで講義 一

詳細は、米山記念奨学会ホームページ【http://www.rotary-yoneyama.or.jp/】をご覧ください。

Rotary International MasterCard ご入会のお願い

さて、財団活動を支援する目的でRotary International MasterCardを発行しております。

このカードはみなさまがカードをご利用されることで、 自動的に財団に寄付される仕組みとなっております。

カードには「Gold MasterCard」と年会費永年無料の「Standard MasterCard」の2種類があり、すでに他のカードにご入会されている方もご入会が可能です。

これらのカードの入会会員数が5千人を超えると、カードショッピングご利用金額の0.3%が財団に還元されますが、現状では目標を大きく下回っている状況であり、ロータリークラブ会員ひとりひとりのご理解とご協力が重要となっております。

みなさまにおかれましては、お一人でも多くのカード会員に ご入会をお願いするとともに、クレジットカードの中で唯一ご利 用金額が財団に還元される仕組みのロータリーカードを、メイ ンカードとしてご利用いただきたく存じます。

お問い合わせ先は、オリコカードセンターまで。



米山学友の著書が出版されました のでご紹介申し上げます

書 名 「中国の不良債権問題」

発行所 日本経済新聞出版社

著 者 柯 隆

今年は、北京オリンピックが開催され、'10には、上海 万博と目の離せない国、中華人民共和国です、このところ 種々論議されておりますが、冷静に真実を見つめ、判断を しなければならないと考えます。

何等かのご参考になればと、ご紹介申しあげます。

ご購読いただき、なおご吹聴いただければ、ありがたき限りでございます。

OGOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2007-2008 OOOOOOOOOOO



インターネット速報

2008年4月15日 No. 331

❖ ソマリア、ポリオ撲滅に歴史的な勝利

3月25日、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)は、アフリカ東部の国ソマリアで、1年間ポリ オの症例が報告されていなかったことを発表。暴力と貧困、基本的な公共設備の欠如をも乗り越 え、この国は再びポリオのない国となりました。

ソマリアでは2002年に一度ポリオが撲滅されたものの、2005年に再び、ナイジェリアで発生し た野生型ポリオウイルスが飛び火して228件の症例がみられました。それを受け、1万人以上の ボランティアと保健員が、安全性に乏しい地域の5歳以下の子どもたちに短期間に経口ポリオワ クチンを投与。地域社会の人々からの力強い支援もあって、地球上で最も危険な国の一つとされ ているソマリア全域において180万人以上の子どもにワクチンが投与されました。世界保健機関 (WHO) の東地中海地域事務局局長・フセイン A. ゲザリー博士は「この歴史的な偉業は、 たとえどんなに厳しく困難な環境であってもポリオの撲滅が可能であることを証明してくれまし た」と話します。

残されたポリオ常在4か国のうち、アフガニスタンについては、2月にWHOがウイルスを同 国南部だけに食い止めることに成功したと発表。アフガニスタンとパキスタンにおけるポリオ症 例数の合計は、2007年の全症例のうちの5%を占めていましたが、インドとナイジェリアより先 にポリオを撲滅できる可能性が高まっています。

発行:ロータリーの友事務所

ホームページ……http://www.rotary.or.jp

編集については……hensyu@rotary- no- tomo. jp

文庫通信(247号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、 電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資 料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。 以下資料のご紹介を致します。

➡ 記念講演から ➡

- ◎「藤沢周平を通して見る庄内山形」 山田洋二 2006 5р (D.2800地区大会)
- ◎「まちを活き活きとさせる建築」 伊東豊雄 2006 15p (D.2600地区大会)
- (D.2590地区大会) ◎「日本の進むべき道」 上坂冬子 2007 9р
- アレックス・カー ◎「日本の美と現状」 2006 5p (D.2630地区大会)
- (D.2770地区大会) ◎「税金の使われ方」 浜田幸一 2007 2p
- ◎「『内助の功』と『大出世』の虚実―検証・山内―豊伝説」 (D.2670地区大会) 渡部 淳 2006 14p
- ◎「河内の英雄『楠木正成』」 永島龍弘 2007 (D.2640地区大会) a8
- ◎「未来を切り拓く経営者たち」 福島敦子 2007 5р (D.2640地区大会)
- 藻谷浩介 ◎「人口減少時代の地域経済」 2007 31p (D.2600地区大会)

【上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)】

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL (03) 3433-6456 http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

▶ 2007-2008年度100万ドル例会実施報告(追加分) ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

	ロータリー財団金額	米山奨学金額
江 南	¥ 93,275	
名古屋城北	¥ 26,685	
名古屋東南		¥ 53,000
岡崎城南		¥ 70,000

総額 ¥ 6,310,527

会員数及び出席報告 (平成20年3月)

				V 12.703	V 12.703	V 12.00		_	^	\	_		
	クラブ名			会員数	会員数	会員数	当月	人	会	退	会	例	3月
			2007年 7月1日	7月1日 女性	2008年 3月末日	女性	3 月	累計	3 月	累計	会数	出席率	
	半		田	59	3	60	3	1	3	0	2	3	97.65%
	常		滑	51	0	52	0	1	2	0	1	4	98.84%
南	東		海	60	2	62	2	0	3	0	1	4	97.02%
尾	東	知	多	22	1	24	1	0	3	0	1	3	72.22%
張分	半	田	南	46	1	46	1	0	1	0	1	4	96.59%
区	知		多	23	0	24	0	0	1	0	0	5	88.33%
	大		府	22	1	24	1	0	2	0	0	3	80.00%
		7 RC		283	8	292	8	2	15	0	6		90.09%
	-		宮	80	0	81	0	0	4	1	3	3	98.18%
	津		島	76	3	75	3	0	0	0	1	4	96.05%
	尾		西	28	1	28	1	0	1	1	1	4	96.55%
西	-	宮	北	51	0	47	0	0	0	0	4	4	92.80%
尾亚	稲		沢	56	0	55	0	0	0	0	1	4	94.00%
張分	あ		ま	89	0	90	0	0	3	0	2	5	98.07%
区	名	古屋清	須	39	1	38	1	0	1	0	2	4	92.74%
	尾	張中	央	46	0	42	0	1	1	2	5	4	92.70%
		宮 中	央	52	5	53	5	0	2	0	1	4	95.15%
		9 RC		517	10	509	10	1	12	4	20		95.14%
	瀬		戸	80	3	79	3	0	1	0	2	4	100.00%
	犬		Ш	79	0	79	0	0	3	0	3	4	100.00%
	江		南	54	1	54	1	0	2	0	2	3	88.19%
	小		牧	38	3	40	3	2	2	0	0	4	94.18%
東	春	日	井	62	2	62	3	0	2	0	2	4	97.03%
尾張	尾	張	旭	30	0	30	0	0	2	0	2	4	99.17%
分	名	古屋空	港	57	3	57	3	0	1	1	1	4	100.00%
区	瀬	戸	北	70	5	74	6	0	6	0	2	4	100.00%
	岩		倉	19	1	19	1	0	0	0	0	4	98.68%
	名	古屋城	北	21	2	22	3	0	1	0	0	4	85.23%
	愛	知長久	手	26	3	23	3	0	0	0	3	4	93.48%
		11RC		536	23	539	26	2	20	l	17		96.00%
	名	古	屋	182	0	188	0	1	14	5	8	4	92.05%
	名	古 屋	西	96	0	100	0	0	11	4	7	3	90.80%
	名	古 屋	南	118	0	122	0	0	4	0	0	4	90.81%
	名词	古屋みた	x と	76	0	76	2	0	4	0	4	4	89.63%
西	名	古屋東	南	67	5	86	8	3	21	0	2	4	90.99%
名上	名	古 屋	中	138	0	138	0	0	8	3	8	5	98.18%
古屋	名	古屋瑞	穂	72	0	72	0	l	l	0	1	3	98.00%
分	名	古屋大	須	68	3	69	3	0	2	0	1	3	90.42%
区	名	古 屋	栄	68	0	71	0	0	6	0	3	4	91.51%
	名	古屋名	南	74	13	73	13	0	1	0	2	4	95.31%
	名	古屋名	駅	93	3	94	3	l	7	4	6	3	94.78%
	名	古屋西	南	46	6	47	5	0	4	0	3	3	94.64%
П		12RC		1,098	30	1,136	34	6	83	16	45		93.09%

	クラブ	平均
平均出席率	81	94.46%

			会員数	会員数	会員数	当	ス	会	退	会		
	クラブ名		2007年	7月1日	2008年	月					例会	3月
	, , , , ,		7月1日	女性	3月末日	女性	3月	累計	月	累計	数	出席率
Н	名 古 屋 :	北	96	0	94	0	2	4	2	6	4	95.29%
		東	82	0	91	0	1	9	0	0	4	92.99%
	名古屋守	-	62	7	61	7	0	1	0	2	4	92.43%
	名古屋和		98	0	96	0	0	3	0	5	4	
東						\vdash	_	_			_	84.33%
名	名古屋名:	-	59	7	59	7	1	4	1	4	4	100.00%
古	名古屋名:		48	7	48	7	0	0	0	0	4	94.49%
屋分	名古屋千		58	6	60	6	1	5	1	3	4	94.07%
区	名古屋昭:		55	0	56	0	0	4	0	3	5	96.31%
		錦	33	6	35	6	0	2	0	0	3	81.37%
	名古屋東		48	2	50	2	0	2	0	0	3	95.83%
	名古屋	葵	24	0	27	0	0	3	0	0	3	96.15%
	HRC		663	35	677	35	5	37	4	23		93.02%
	豊	橋	119	4	119	4	0	2	1	2	3	95.32%
	蒲	郡	57	0	56	0	0	2	0	3	4	90.72%
	豊 橋	北	90	2	91	2	0	4	1	3	4	96.76%
	豊	Ш	66	0	68	0	0	4	0	2	4	93.21%
	田	原	54	1	55	1	0	3	0	2	4	90.55%
東	豊 橋	南	63	0	61	0	0	1	0	3	5	96.63%
三	新	城	50	0	51	0	0	3	0	2	4	95.57%
河分	渥	美	36	0	36	0	0	1	0	1	4	90.15%
区	奥三	河	18	3	19	3	0	2	0	1	4	92.00%
	豊川宝:	飯	57	2	55	2	0	2	0	4	4	94.90%
	豊橋ゴールデ	ン	59	0	60	0	2	3	0	2	4	97.68%
	田原パシフィッ	ゥク	63	0	66	1	2	5	0	2	3	95.22%
	豊橋	東	45	0	40	0	0	1	0	6	4	96.23%
	13RC		777	12	777	13	4	33	2	33		94.23%
	岡	崎	92	1	95	1	0	7	1	4	4	99.71%
	豊	Ш	77	0	83	0	0	11	1	5	3	99.15%
	岡崎	南	94	2	95	2	0	3	0	2	4	97.76%
西		西西	99	0	102	0	0	5	0	2	4	98.95%
二河		 東	62	0	62	0	0	2	0	2	3	93.88%
中		東	78	0	76	0	0	4	1	6	4	96.77%
分		南	75	0	75	0	0	1	1	1	4	95.58%
区		EE_ 好	22	2	21	2	0	0	0	1	4	88.75%
		~_ 中	49	5	51	5	0	3	0	1	4	94.50%
	豆 田 9RC	r	648	10	660	10	0	36	4	24	-1	96.12%
Н		公	92	4	95	4	0	7	0	4	5	
		谷城				\vdash		-				100.00%
			60	1	60	1	0	1	1	1	4	97.70%
_==		尾声	71	1	76	1	0	5	0	0	4	98.41%
西三		南丘	79	0	80	0	0	4	0	3	4	96.97%
河.		色 ※	29	0	28	0	0	0	1	1	3	95.00%
分		浜	39	2	41	2	0	2	0	0	3	100.00%
区		立.	65	0	65	0	0	2	1	2	4	100.00%
	西尾KIRAR		58	0	59	0	0	2	0	1	4	100.00%
						C	0	1	0	0	4	02 060/
1	三 河 安 : 9 R C	城	56 549	6	57 561	6 14	0	24	3	12	4	93.86%

		2007年7月1日会員数	5,071名	内女性142	增加会員数 (累計)	260名
地区内クラブ数	81RC	当月会員数	5,151名	内女性150	減少会員数(累計)	180名
		当月平均出席率		94.46%	差引純増会員数(累計)	80名





表紙に寄せて

撮影 江崎 柳節

夕日が美しい場所は何処にでもあります。4月号でご紹介したエーゲ海にはアテネからそれほど遠くないスーニオン岬とエーゲ海サントリニ島の町オイアの突端が有名です。ローマからフィレンツェへの列車の中から見た、乗客の顔が染まるほどの夕日にも驚いたし、イスタンブールのアヤソフィアから出たときの街中大火に揺れるような夕焼けも凄かった。夕日は地球上何処でも見るわけだが、"旅心"が織り込まれた場所で迎える夕日はまた特別です。

前にもご紹介した"天国に最も近い丘(マウナ・ラニ)"で、 みんなで迎える夕日は楽しみです。余程の曇天でなければ" 立ち待ちのサンセット"が毎晩迎えられる幸せな場所です。

夕日が沈んだ後、空が真っ赤に燃えるまでには20分くらい待たなければなりません。その時は天空の60%くらいが高曇りである方が美しく映えます。写真の夕日は沈んだ後夕映えにならずに直ぐに暗くなりました。ここは世界一空気が澄んでいて、4000メートルのマウナケア山頂には先進諸国の観測所が並んで居ます。初夏までスキーができるハワイ諸島唯一の山です。(柳節)

ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253 小牧商工会議所会館5F

TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112 HP: http://www.rotary2760.org

E-mail: governor07-08@rotary2760.org